

市政のここがききたい

3月定例会では13人の議員が質問しました。

各会派の人数に応じて紙面の割り付けを行っています。

ここでは紙面の関係でその一部を要約して掲載しています。

〔八街市ホームページに一般質問の項目を掲載してあります。〕
<http://www.city.yachimata.chiba.jp/>

やちまた21

加藤 弘
押尾 定明
小澤 誠治
山本 正美

代表
質問 山本 正美

◆新年度財政運営について

問 市税収入の確保に向けた新たな取り組みとその目標等はどうか。

市長 本格的な地方分権時代の到来を控え、三位一体の改革により市税収入を主とする自主財源比率の構造的な高まりに対応して、本年7月に税務担当課の組織の見直しを行い、これにより国民健康保険税を含む市税の徴収体制を強化し、収納率の向上など市税収入の増を目指します。

◆行財政改革の

一層の推進について

問 財政健全化計画の早期策定を望むがどうか。

市長 本年3月末を目途に財政健全化計画を作成しているところです。

なお、この内容について

は、広報やちまた4月号に掲載し、市民の皆さんにお知らせする予定です。

◆安全で快適な

まちづくりについて

問 三区地先の八街バイパス沿いへの移転を要望してきた警察署の移転計画はどのようになっているのか。

また、その移転後の八街駅前交番の設置促進にどのように取り組んでいくのか。

市長 既存の市有地の中で移転先を検討した結果、中央公民館前のふれあいバスターミナル横を候補地として決定し、佐倉警察署長に対し、移転依頼しました。

また、駅前交番の設置に關しましては、八街駅北側地区土地区画整理事業区域内に、駅前交番として活用できる用地が確保されています。

問 消防団員の確保と資質の向上にどのように取り組んでいくのか。

市長 消防団の基本理念である「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを市民に啓発し、連帯意識の向上と地域社会の関心を高め、身近な存在としての消防団を育成・充実することによ

り、団員確保を図っていきます。

問 市街地の集中豪雨時の都市型洪水に、今後どのように取り組んでいくのか。

市長 学校等公共施設への設置はもとより、市民の方々にも各家庭に雨水浸透枘や雨水貯留タンク等を設置していただくなど、行政と市民が一体となった雨水の地下浸透や有効利用について研究していきます。

問 防犯に機能している商店街の街路灯へより一層の防犯充実という面から、更なる財政支援望むがどうか。

市長 県制度はもちろん、中心市街地活性化法に基づくTMO事業等を活用し、街路灯の建設・建て替えを商店街とともに検討していきます。

問 狭隘な通学路等の防犯灯の明るさ確保の面から電灯位置を下げる事が出来ないか。

市長 毎年100灯以上の防犯灯の新設を進めていますが、その取りつけ位置に關しては法令で定められており、現在より下げることがあるため難しい状況です。

◆活力に満ちた

商工業の振興について

問 新規の税財源の涵養という観点から地域密着型産業品の製造・販売の一体化を促進する拠点づくりに取り組んではどうか。

市長 八街TMOとともに地域経済の活性化を図るため、「(仮称)八街駅南口コミュニティ施設活用事業」に取り組んでいるところです。

◆循環型社会経済システムの構築について

問 循環型社会基本法に定められた地方公共団体として、今後における本市の取り組みをどのように考えているのか。

市長 家電やパソコン、自動車など個別物品ごとの規制を市民の皆さんに周知し、長中短期的な計画を策定し、目標数値や事業者・市民・行政の役割を明確にしていくよう努力していきます。

◆思いやりあふれる

福祉の充実について

問 夜間・緊急対応を含む在宅支援体制の整備充実に関しては、今後どのように取り組んでいくのか。

いくのか。
市長 市内3カ所の在宅介護支援センターでは、24時間体制で要支援高齢者及びその家族等からの相談に応じています。

緊急通報装置設置管理事業として、高齢者世帯等の緊急時における救急車の手配をはじめ、各種相談業務に24時間応じており、今後対象となる高齢者世帯等からの要望には、速やかな設置を進めたいと考えています。

▼緊急通報装置



◆子育て支援の充実について

問 本市の私立幼稚園への財政等支援の充実を望むがどうか。

教育長 私立幼稚園に通園する保護者の負担軽減のため、運営費補助事業を実施していきます。

問 本市における幼稚園と小学校、幼稚園と保育所の連携教育の現状と課題はどうか。また、今後どのようにその連携を充実していくのか。